

《報 告》

本邦における gated SPECT の使用状況

日本核医学会 gated SPECT ワーキンググループ

西村 恒彦(京都府立医大 放)	中嶋 憲一(金沢大 核)
中田 智明(札幌医大 二内)	中村 智樹(京都府立医大 放)
山辺 裕(市立加西病院 内)	汲田伸一郎(日医大 放)
伴 和信(東海大 循内)	丸野 廣大(虎の門病院 放)
福地 一樹(国循センター 放)	

要旨 本邦における gated SPECT の使用状況を把握するため、日本核医学会 gated SPECT ワーキンググループが中心となりアンケート調査を施行した。Gated SPECT の施行数・頻度、対象疾患、使用核種、プロトコール、gated SPECT 不成功例の頻度および疾患の内訳、収集条件、再構成条件、解析ソフトウェア、診断上参考にしているパラメータを調査項目とし、gated SPECT が行われていると予想される全国 345 施設にアンケート票を配布、180 施設から回答を得た(回収率 52%、うち 177 施設で gated SPECT が施行されていた)。これらのデータを集計し、本邦での gated SPECT の使用状況につき概説する。

(核医学 40: 205-212, 2003)